

ガイアナ共和国概況

The Cooperative Republic of Guyana



2019年6月

在トリニダード・トバゴ大使館

目 次

I. 概観.....	3
1. 一般情報.....	3
a. 面積・地勢・気候.....	4
b. 人口・人種.....	4
c. 言語.....	4
d. 国名・国旗.....	4
e. 社会.....	5
f. 国家認識.....	5
2. 略史.....	5
II. 政治と外交.....	6
1. 最近の政情.....	7
2. 立法.....	8
3. 政党.....	8
4. 行政.....	8
a. 中央.....	8
b. 地方.....	9
5. 司法.....	9
6. 外交.....	9
a. 概況.....	9
b. ベネズエラとの関係.....	9
c. スリナムとの関係.....	10
III. 経済.....	10
1. 概観.....	10
2. 近年の経済状況.....	10
3. 産業.....	11
a. 農業.....	11
b. 鉱業.....	12
c. エネルギー.....	12
4. 金融・財政.....	13
5. 貿易.....	13
6. 経済統合.....	14
IV. 日本との関係.....	14
1. 政治・外交.....	14
2. 経済関係.....	15
a. 来訪.....	16

b. 往訪	17
5. 文化・人的交流	17
6. 在留邦人	17
V. 旅行者のために	17
1. 通貨・両替	17
2. 電話	18
3. 電圧	18
4. 2018年の祝祭日	18
5. 交通事情	18
● タクシー	18
6. 治安	19
VI. ジョージタウンの見所	19
VII. 宿泊	20
1. ホテルリスト	20
VIII. 主要電話番号	20
付録	21
■ ガイアナ閣僚名簿	21
■ ガイアナ地図	24
■ 当館管轄国と日本の貿易関係	25

(注) この資料に掲載された情報は2018年8月の時点で調査したものです。旅行等に必要情報はあらかじめお調べの上お出かけ下さい。

I. 概観

1. 一般情報

	ガイアナ	日本
面積	約 196,850k m ²	38 万 k m ²
時差	日本との時差は - 13 時間	
気候	熱帯性 年平均気温 : 31.8°C (2016 年) ⁱⁱ 年間降水量 : 1,214,63mm (2016 年) ⁱⁱⁱ	(東京) (2016 年) ^{ivv} 8 月: 28.1°C 1 月: 4.7°C 年間降雨量 : 1,445.5 mm
人口	777,859 人 (2017 年) ^{vi} 人口増加率 : 1.4% (2017 年) ^{vii} 人種構成 : インド系 43.5% アフリカ系 30.2% 混血 16.7% 原住民 9.1% その他 (中国系など) 0.5% ^{viii}	1 億 2620.5 万人 (2018 年 12 月) ^{ix}
1 人当たり GDP/ GNI	GDP (米ドル) 3621.05 1 人当たり GNI 4、500.0 (2017 年)	
主要言語	英語 (公用語)	
宗教 ⁱ	キリスト教 (プロテスタント 30.5%、ローマ・カトリック 8.1%他) ヒンズー教 28.4% イスラム教 7.2% その他 4.3% 無宗教 4.3% ^x	
その他	首都 : ジョージタウン (Georgetown) 国際空港 : Cheddi Jagan 空港 (首都から約 40 km南)	

ⁱ The World Bank : <http://databank.worldbank.org/data/reports.aspx?source=world-development-indicators>

ⁱⁱ World Weather Online : <https://www.worldweatheronline.com/georgetown-weather-averages/demerara-mahaica/gy.aspx>

ⁱⁱⁱ World Weather Online : <https://www.worldweatheronline.com/georgetown-weather-averages/demerara-mahaica/gy.aspx>

^{iv} 気象庁 :

http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/monthly_s1.php?prec_no=44&block_no=47662&year=2016&month=&day=&view=

^v

http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/monthly_s1.php?prec_no=44&block_no=47662&year=2016&month=&day=&view=

^{vi} The World Bank : <http://databank.worldbank.org/data/reports.aspx?source=world-development-indicators>

^{vii} The World Bank : <http://databank.worldbank.org/data/reports.aspx?source=world-development-indicators>

^{viii} CIA、 The World Factbook : <https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/gy.html>

^{ix} 総務省統計局 : <http://www.stat.go.jp/data/jinsui/>

^x CIA、 The World Factbook : <https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/gy.html>

a. 面積・地勢・気候

南米大陸北東部の大西洋に面し、西はベネズエラ、東はスリナム、南部及び南西部はブラジルと国境を接します。

面積は、日本の約6割、英国よりやや小さい面積の約20万平方キロですが、エセキボ川左岸地域（エセキボ地方、ガイアナ面積の約2/3）は、ベネズエラが固有の領土と主張しており、両国係争地域となっています。

地勢は、沿岸部低地、丘陵地（海岸部低地の内陸側）、内陸大地（いわゆる「ギアナ高地」）、内陸サバンナの категория に大別され、その国土を河川が網の目のように走っています。

気候は、熱帯性気候で、平均気温は31.8度です。

b. 人口・人種

ガイアナは、多民族社会であり、インド系、アフリカ系の2大人種を中心に構成されています。そのため、人種間の調和、共存が国家の大きな目標になっています。多人種国家の由来は、植民地時代に砂糖黍プランテーションの労働力としてアフリカから黒人奴隷を移入したこと、さらに、奴隷制の廃止に伴いインド及び中国から契約労働移民を受け入れたことによります。

ガイアナは人口の流出が激しく、国内に居住する国民のほとんどが、米国、イギリス、カナダに親戚を持つと言われるほど海外に居住する人口が多く、人口は減少傾向にあります。そのため、有用な人材の頭脳流出が開発への阻害要因となる課題を抱えています。

c. 言語

公用語は英語です。英語をベースにアフリカ言語をミックスしたクレオール語も一般に使用されています。また、インド系国民がいるため、そのコミュニティ内ではヒンディー語、ウルドゥ語も使われる他、民族固有の言語しか話さない原住民もいます。

d. 国名・国旗

【国名】

原住民であるアラワク族ないしワロー族の言葉で「水の豊かな大地」を意味する「ギアナ（英語読みは「ガイアナ」）」が語源であるとの説が一般的です。確かに、ジョージタウンに向かう飛行機から地上を見下ろすと、熱帯雨林の中を広大な河川が縦横に走る景観が広がっており、この説に納得させられます。また、正式名称は「ガイアナ協同共和国」ですが、国名に「協同」が付された理由として、1970年に憲法を改定した際に、ガイアナは資本主義から社会主義への過渡期にある民主的主権国家であり、国民の統合と生産性を向上させる「協同主義」の立場をとる旨が説明されています。しかしながら、ガイアナ憲法は財産の私有や私企業の活動を認めており、同国は、実質は資本主義国家です。

【国旗】



e. 社会

ガイアナの多様な人種構成は、社会構成にも特徴を与えています。すなわち、農村部の砂糖黍労働者及び米小作農民はほぼ例外なくインド系であり、都市部勤労者にはアフリカ系、都市部小売商店経営には中国系が多く従事しています。これは、奴隷制が廃止されるとアフリカ系黒人は自分たちを縛り付けてきた農村を嫌って都市部に進出したこと、インド系はプランテーションの労働の傍ら、自活のためにインドで行っていた米作を導入したことに起源があるようです。

f. 国家認識

ガイアナは、南米大陸にありカリブ海には面していないにもかかわらず、カリブ諸国の一員と自己認識しています。これは、ジャマイカ、バルバドスのようなカリブ海島嶼国と同じく、英国の植民地支配を受け、アフリカ系黒人奴隷として共通の歴史的運命を経験したという一体感によるもので、英語圏カリブ諸国で構成するカリブ共同体（CARICOM）の本部も首都ジョージタウンに置かれています。2008年には、南米諸国連合（UNASUR）に、2013年には、準加盟国として南米南部共同市場（MELCOSUR）に加入し、南米諸国との関係拡大の動きを見せています。

ちなみに、南米諸国のほとんどは、ラテンアメリカと言われるスペイン及びポルトガルの旧植民地ですが、ガイアナ（旧英領）、スリナム（旧オランダ領）、フランス領ギアナだけはラテンアメリカではありません。

2. 略史

年	事柄
1500年頃	スペイン航海者が沿岸を航行し、現在のガイアナを発見
1530年	スペイン人が最初に植民を試みたが失敗
1580年代	オランダ人がバリマ河畔に交易のための居住地を建設
1595年	英国エリザベス朝の廷臣ウォルター・ローリー卿のガイアナ探検
1621年	オランダ西インド会社設立と同社による統治（1781年まで）
1763年	バービス地区における黒人奴隷の大反乱
1796年	バルバドスの英国艦隊によるガイアナ占領
1814年	英国の植民地統治が始まり、1831年から英領ガイアナとなる
1834年	奴隷制度廃止
1950年	チェイ・ゼガン、リンデン・フォース・バーナムら外国帰りの知識人が人民進歩党（PPP）を結成
1953年	普通選挙制度と共に植民地自治始まる
1957年	ジェーガン、植民地自治政府首相に就任（1964年まで） バーナムがジェーガンと決別し、人民全国会議党（PNC）を結成
1964年	バーナム、植民地自治政府首相に就任（以後、バーナムは独立を経て、1985年に死去するまでガイアナ首相及び大統領として統治）
1966年	英連邦内の立憲君主国として独立

1970年	国名を「ガイアナ協同共和国に改称」、行政権を有しない大統領を国家元首とする共和制に移行
1975年	ボーキサイト産業国有化
1976年	砂糖産業国有化
1980年	新憲法の公布、行政権を有する大統領制に移行
1985年	バーナム大統領逝去、ホイト副大統領兼首相が大統領に就任
1992年	ジェーガン大統領就任
1997年 3月	ジェーガン大統領逝去、ホイト前大統領が大統領に再び就任
1997年12月	ジャネット・ジェーガン首相（前大統領夫人）が大統領に就任、ハインズ首相誕生
1999年 8月	ハインズ首相辞任、ジャグデオ大蔵大臣が首相に就任、ジェーガン大統領辞任、ジャグデオ首相が大統領に就任、ハインズ首相就任
2001年 3月	与党人民進歩・市民党（PPP/C）が総選挙で勝利、ジャグデオ大統領が国会で再任
2006年 8月	与党PPP/Cが総選挙で勝利、ジャグデオ大統領が国会で再任
2011年11月	与党PPP/Cが総選挙で勝利、ラモター大統領が就任
2015年 5月	野党同盟国民統一のためのパートナーシップ（APNU）及び変化のための同盟（AFC）が総選挙で勝利、グレンジャーAPNU党首が大統領に就任

II. 政治と外交

独立年月日	1966年5月26日	
政 体	共和制 国家元首：デービッド・グレンジャー大統領（任期5年） 首相： モーゼス・ナガモーター	
立 法 府	一院制	
議席数	65議席	
任期	5年	
政党議席数	国民統一のためのパートナーシップ（ANPU）+変化のための同盟（AFC） 33 人民進歩・市民党（PPP/C） 32	
	25議席は10選挙区名簿（Geographical Constituency List）から比例代表制で選出され、 40議席は全国区名簿（National Top Up List）から選出されます。	
主要政党	国民統一のためのパートナーシップ（APNU）：党首 デービッド・グレンジャー 変化のための同盟（AFC）：党首 ラファエル・トロットマン 人民進歩・市民党（PPP/C）：党首 バラット・ジャグデオ	

司法制度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 治安判事裁判所 (Magistrate's Court) ・ 高等裁判所 (High Court) ・ 控訴裁判所 (Court of Appeal) ・ 最高裁判所 (カリブ司法裁判所 (C C J))
防 衛	国防軍 (防衛・沿岸警備隊・航空部隊等)

1. 最近の政情

1997年3月のジェーガン大統領死去後、同年12月の総選挙までホイト首相が大統領職を務めました。同選挙でPPPが勝利し、ジャネット・ジェーガン（ジェーガン前大統領夫人）が大統領に就任しました。しかし、野党PNCは選挙不正を理由に抗議行動を起こし、情勢が悪化しました。カリブ共同体（CARICOM）の仲介で、同大統領とホイトPNC党首との間で、抗議デモの中止、同大統領任期の3年への短縮、憲法改正、総選挙の2001年1月までの実施及び選挙結果の国際的検証の実施につき合意しました。1999年8月、健康上の理由でジェーガン大統領が辞任し、ジャグデオ蔵相が新大統領に就任しました。また、2001年3月の選挙では、ジャグデオ大統領が国会で再任され、長年の懸念であった、同与野党党首会談が実現しました。2003年5月に同大統領は、ホイト党首の逝去に伴い就任したコービン新PNCR（2001年に改革党（R党）と合併し、PNCRに編成）党首と種々の問題の解決に向けて与野党が協力していくことで合意しました。しかし、2004年3月にコービン党首は、他政党、市民社会等も含めるべき旨表明し、会談は暗礁に乗り上げました。

2006年、与野党の分裂が解決されないままに、ジャグデオ大統領は、2006年8月に行われた総選挙を控え、政権発足時からの課題であるPNCR-IG（2006年に統一ガイアナ党（IG党）と合併しPNCR-IGに編成）との協調に努力しましたが、与野党間の対立は緩和せず、選挙時の混乱が予想されたため、米州機構（OAS）を通じて諸外国から選挙監視団が派遣されるなど混乱した状況で選挙が行われました。

同年の総選挙では、これまでの人種的対立に起因する政治対立に倦怠感を覚えた国民が多かったこと、野党側がアフリカ系国民の支持基盤を固められなかったこと及び強力な対立候補が存在しなかったことを背景に、ジャグデオ大統領に対する国民の信頼及び幅広い支持が反映され、選挙は大きな混乱もなく実施され、PPP/Cが勝利、ジャグデオ大統領が再選を果たしました。

2011年11月の総選挙の結果、PPP/Cのラモター候補が大統領ポストを二期務めたジャグデオ大統領を引き継いで新大統領に選出されました。しかしながら、国会65議席のうちPPP/Cの獲得議席は前回の36議席から4議席減の32議席に留まり、過半数割れとなりました。2014年7月、野党変化のための同盟（AFC）は議会に政府不信任動議を提出しましたが、その後審議は行われず、11月にラモター大統領は議会の一時停止を発表しました。2015年2月28日になってようやく議会は解散されるなど、ガイアナ史上これまでに例のない流れを経て総選挙実施に至りました。

2015年5月11日に総選挙が行われた結果、PPP/Cが32議席、国民統一のためのパートナーシップ（APNU）及びAFCによる野党同盟が33議席獲得し、23年ぶりの政権交代が実現しました。野党同盟がAPNU 最大の支持基盤で人口の多い第4選挙区（デメララ／マハイカ）票を集めたことに加え、PPP/C 長期政権に対する倦厭、PPP/C 閣僚による汚職及び縁故主義、度重なる地方選挙の延期による国民の不信感

などにより、PPP/C がほぼ全ての選挙区で支持を落としたことが、野党同盟勝利に繋がったと見られています。新大統領にはグレンジャーAPNU党首、首相にはAFCのナガモートー議員が就任し、新政権の課題として、汚職撲滅、人種間の融和、ガバナンス改善等が挙げられています。エスニックを基盤とした政治ではなく、国家として抱える問題を軸にした政治を行うためにアフリカ系の政党とインド系の政党が協力体制を構築するのは、ガイアナ史上初の試みであり、同国が長年抱えるエスニックの融和という課題に取り組むことが期待されています。また、2015年から継続的に発見されているガイアナ沖合での大規模油田の開発に関し、適切な財政措置及び法整備の施行など、今後の政策及び経済成長も注目されています。2016年3月には、21年ぶりに地方選挙が実施され、PPP/Cが勝利を収めました。

2018年12月、内閣不信任案が提出され、パサード与党議員が賛成に回り、33票(反対32票)で可決されました。2019年1月、政府は、過半数の定義、パサード与党議員二重国籍問題を理由に、本件投票の無効をガイアナ高等裁判所に提訴したところ、敗訴しました。上訴された控訴裁判所は、政府の主張を認めて、不信任を無効としました。野党側は、カリブ司法裁判所に上訴し、5月9-10日の審理を経て、6月18日に不信任決議を有効との判決を出しました。グレンジャー大統領はこの判決を受け入れるとの声明を出しましたが、次期選挙の時期は明らかになっていません。

2. 立法

国会は一院制で、議席数は65、任期は5年です。このうち25議席は地理上の10選挙区名簿(Geographical Constituency List)から比例代表制で選出され、40議席は全国区名簿(National Top Up List)から選出されます。

3. 政党

現在のガイアナの主な政党と党首は次のとおりです。

- 国民統一のためのパートナーシップ(A Partnership for National Unity 略称APNU)
党首 デービッド・A・グレンジャー (David A. GRANGER)
- 変化のための連合(Alliance for Change 略称AFC)
党首 ラファエル・トロットマン (Raphael Trotman)
- 人民進歩・市民党 (Peoples' Progressive Party/Civic 略称PPP/C)
党首 バラット・ジャグデオ (Bharrat Jagdeo)

4. 行政

現行憲法は1980年10月に制定されたものです。

a. 中央

国家元首である大統領には行政権があり、首相職を置いています。1980年10月の新憲法により、行政権を有する大統領を元首とする共和制になりましたが、現在でも英連邦加盟国です。

大統領の任期は5年、再選可能です。国会議員選挙において参加政党から提出される国会議員候補リストの中の1名(通常は党首)が当該政党の大統領候補として明記されており、有権者は国会議員を政党で選ぶと同時に大統領を個人として選ぶこととなります。一種の議院内閣制ではありますが、有権者が選んだ政党から単純多数で大統領が選出され、国会で指名するような制度ではありません

(従って、国会の議席で過半数を占めなくても、単純多数の政党の党首が大統領になることができます)。

(付録「ガイアナ閣僚名簿」参照)

b. 地方

全国は10行政区に分割されていますが、各行政区に地方議会があり、各地方議会につき1名の代表(計10名)及び地方議会議員で構成される地方議会全国会議の代表2名(議長及び副議長)に国会議員の資格が与えられます。

5. 司法

ガイアナの司法制度は(i)簡易裁判所である治安判事裁判所(Magistrate's Court)、(ii)高等裁判所(High Court)、(iii)控訴裁判所(Court of Appeal)、(iv)カリブ司法裁判所(Caribbean Court of Justice)の4層構造になっています。

6. 外交

a. 概況

ガイアナは、南米に位置する非ラテンアメリカの国、カリブ海に面しないカリブの国として、対外的にもこの特殊な地政学上の位置が反映されています。歴史的経緯、言語、人種を共通にするカリブ島嶼国との関係が強くあり、カリブ共同体(CARICOM)、カリブ開発銀行(CDB)及びカリブ諸国連合(ACS)に加盟しており、カリコム事務局の所在地でもあります。一方、元英領植民地であったことから現在も英連邦のメンバーであるとともに、イスラム協力機構(OIC)にも加盟し、対外関係はカリブ一辺倒というわけではありません。

英語圏の国であるため、近隣のスペイン語ないしポルトガル語圏の国との経済交流、人的交流は低調であるとされてきましたが、2008年には、南米諸国連合(UNASUR)、2013年には、準加盟国として南米南部共同市場(MELCOSUR)に加入し、南米諸国との関係拡大の動きを見せています。

カリコム地域内の最貧国として経済を浮揚させるためには先進国との関係を強化し、その協力を得ること以外に選択肢はないのが現状で、対外政策の最大の目標は、先進諸国、国際金融機関からの経済援助、民間投資の導入に置かれています。

b. ベネズエラとの関係

エセキボ川左岸地域(エセキボ地方、ガイアナ面積の約2/3)は、ベネズエラが固有の領土と主張しており、両国の係争地域になっています。植民地時代のスペインと英国の係争が独立後に持ち越された領土問題です。ガイアナは、1966年のジュネーブ協定(ベネズエラと英国が署名)に基づき、紛争が解決されない場合には国連事務総長が解決方法を決められると主張し、2018年1月にグテーレス事務総長は両国に対し本件は国際司法裁判所(ICJ)に付託し、3月29日にICJに同問題を提訴しました。2019年4月、ICJへの管轄権に関する申述書の期限までに、ベネズエラは提出せず、ガイアナは早期に口頭尋問開催を求めています。

c. スリナムとの関係

ガイアナは、スリナムとの間にも領土問題を抱えています。ガイアナとスリナムの国境線は両国間を流れる河川流とされていますが、植民地時代には内陸部の実態が把握されておらず、いずれの支流が国境になるのかが不明確なままにガイアナとスリナムが独立し今日に至り、お互いに自国に有利な支流を国境線として主張していることに起因しています。2000年にガイアナ政府は、カナダ資本の会社に海上油田探査の許可を与え探査を始めましたが、スリナム政府は自国の領海が侵されたと抗議、艦船を探査海域に派遣し、緊張が高まったという出来事も起きています（その後、探査活動は中止に追い込まれた）。2002年1月にはガイアナのジャグデオ大統領がスリナムを訪問し、国境問題について油田の共同開発の可能性を含めた包括的な二国間協力枠組みが合意され、両国による国境委員会が復活、協議が再開されました。2010年の両国の首脳会談では両国をまたがる橋の建設につき合意されました。

2004年3月にはガイアナ政府が国境問題について、国連海洋法条約に照らし訴訟を起こし、2007年9月、駐オランダ常設仲裁裁判所は、ガイアナ・スリナム二国間の海洋境界を画定し、10月、国連海洋法裁判所により、ガイアナ・スリナム二国間の海洋境界が画定しました。

Ⅲ. 経済

1. 概観

ガイアナ経済は主に砂糖、米、金及びボーキサイト等の生産・輸出により支えられてきました。砂糖と米はガイアナの伝統的な農産品であり、雇用面からもガイアナ経済に重要な貢献をしています。農業は人口の集中している海岸部が中心であり、内陸部には豊富な森林資源、鉱物資源が存在します。また、2015年、ガイアナ沖での大規模油田の発見を皮切りに、エクソン・モービル社は、2019年4月までにガイアナ沖で13の油層を発見しており、昨今の経済はエネルギー資源の開発に注力する流れです。政府は2020年の生産開始を目指し、探査作業と同時に石油・ガス収入の適切な運用を目的とした法整備や枠組構築にも取り組んでおり、中長期的な成長動向に大きな影響を与えるエネルギー部門の動向が注目されるところです。

2. 近年の経済状況

2000年代後半の世界的な一次産品の高騰に加え、高品質な工業用金及びボーキサイトに対する需要が高まったことにより、ガイアナの農業や鉱業における生産量は増産傾向にあったものの、高騰していた金価格の落ち込み、さらに2014年の石油価格急落により他の一次産品価格の下落も起き、生産量の減少が見られました。GDP成長率は、2011年から2013年まで5%前後と高水準を保っていましたが、2014年には3.8%、2015年には3.1%、2016年には下落する農業製品価格、悪天候の影響及び公共投資の遅延を受けて、3.4%と落ち込みました。一方、同年からは金の生産量が上向きとなるとともに、エネルギー部門の成長によって経済多角化の兆しが見え始めています。2017年の経済成長は2.1%と減速傾向に変化はないものの、非鉱業部門は4.1%成長を記録するなど回復しており、中期的な成長は採掘産業及び公共投資の動向が要です。

2017年の経常赤字対GDP比は、特に石油・ガス部門へのFDIの増加に後押しされ、2016

年より0.4%好転し6.7%でした。エネルギー分野においては、2015年5月の Stabroek 鉱区 Liza-1号井における大規模な油層の発見を始めとし、エクソン・モービル社は2019年4月までにガイアナ沖で13の油層を確認しており、原油の採掘可能埋蔵量は約55億バレルと推定されています。これら油井においては、エクソン・モービル社によれば、2020年に商業生産が開始され、当初は日量12万バレル程度の生産量となりますが、2025年までには日量75万バレルにもなることが見込まれており、その結果、ガイアナは、現在日量6万バレルを生産しているトリニダード・トバゴを超え、カリコム地域最大の原油生産国になります。一方、Liza 油田そのものは、ベネズエラが自国の海域と主張する海域から外れていますが、埋蔵資源はベネズエラが主張する海域へも連続して分布していることから、ベネズエラが領土問題を蒸し返しています。

継続的な新規油田の発見と石油生産の開始は、中長期的な予想を非常に明るくしています。2019年の経済成長は、建設業、米部門の継続的な成長及び金鉱業の回復にも後押しされ、3.8%になると見込まれます。2019年及び2020年の経常収支対GDP比は、新たな石油採掘が開始されるため、それぞれ5.8%、8.6%と好転する見込みです。またIMFは2019年の成長率を4.1%（18年2.1%）と予測しています。

表1 GDP総額(単位:億米ドル)

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
GDP総額	25.82	28.65	29.88	30.79	31.97	35.04	35.61	36.36*

(*推定値、出所:IMF World Economic Outlook Database、June 2019)

表2 GDP成長率(単位:%)

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
GDP成長率	5.4	5.0	5.0	3.9	3.1	3.4	2.1	3.4*

(*推定値、出所:IMF World Economic Outlook Database、June 2019)

表3 インフレ率(消費者物価指数:年間平均)(単位:%)

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
インフレ率	4.408	2.391	1.909	0.684	-0.865	0.827	1.954	1.296*

(*推定値、出所:IMF World Economic Outlook Database、June 2019)

3. 産業

a. 農業

砂糖生産は、主に国営企業のガイアナ砂糖公社 (Guyana Sugar Corporation: GuySuCo) により行われており、同社は1990年に英国のブティカート社と経営委託契約を締結し、民間経営手法の導入により経営の効率化を図っています。砂糖の生産高は1971年には約40万トンを記録しましたが、1980年代には著しく減少し、1990年には約13万トンまで落ち込みました。その後、1990年代には増加の傾向を示し、2010年以降は20万トン前後で推移しており、2015年は、目標値22万7,000トンに到達しました。しかし、何十年もの間謳歌してきた欧州との特惠的経済関係の終了したこと、ストライキが多発したこと等により、現在砂糖部門は破綻状態にあり、

政府の介入抜きに操業を継続することは困難となっています。砂糖産業低迷の主要因は構造的問題であり、これまでに多額の公的資金が投入されましたが、改善されてはいません。また、高い収益率を誇る砂糖農園の産量を100万トンまで押し上げるために、2億米ドル以上もの資金が投資されましたが、期待された成果は出ていません。2009年に中国が完成させた砂糖工場（Skeldon Estate）も、技術的な問題が原因で機能しておらず、約束された11万トンの砂糖生産は達成されていません。政府は現在、9か所の国営砂糖農園の改革に取り組んでいます。

米生産は、10エーカー程度の小規模営農から1、000エーカーを越える大規模営農まで混在して行われています。1970年代後半から1980年代後半まで、米産業は政府の管理下に置かれていましたが、この価格管理政策は上手く機能しなかったことから、1989年に自由化されることになりました。2015年には、ベネズエラとの係争地で発見された石油埋蔵地を巡り、同国との対立が表面化したことで、ガイアナはこれまで生産量の35～40%の輸出先であった巨大なベネズエラ米市場から撤退を余儀なくされました。このため、ベネズエラに代わる市場開拓が必要ですが、砂糖と米はこれまでカリコム、ベネズエラ、欧州市場において、優遇的な価格で取引されてきたことから、国際競争力が弱いのが難点です。砂糖と米の取引に関しては、ガーナ、ナイジェリア、アジア地域、メキシコからの問い合わせがありますが、これらの国々とは国際取引価格で行われるため、競争に勝てず、両産業の衰退に拍車がかかる危険性を抱えています。

b. 鉱業

ガイアナの主な鉱業品はボーキサイト及び金です。最近ではダイヤモンドも有力になっています。

ガイアナにおけるボーキサイト産業の歴史は古く、1917年の時点で既に生産が開始されていました。当初は外国資本により生産されていましたが、1970年代に国有化された後も順調な成長を遂げ、雇用、税金及び外貨獲得など、ガイアナ経済に多大な貢献をしてきました。その頃から大幅に開発が始められましたが、1981年以降は下降傾向にあります。一方、金は、2016年に2つの新規金鉱が開鉱したことで、その後の金の生産量が増加するとともに、金産業に対するこれまでの政策措置が実を結び、過去最大の税収が達成されました。一方で、政府の統計によれば、ガイアナの金は、週平均1万5、000オンスが密輸されており、これは中小規模鉱夫が生産する金総量の50～60%に相当します。ガイアナの金産地は奥地であり、検問所のない国境でブラジル、ベネズエラ、スリナムと繋がっています。国境全てにおいて取り締まりを行うこと、また、金生産者全てを取り締まることは不可能なため、政府は法体制をより厳格にし、監視能力の強化に努めるとともに、国際パートナーとの協力関係の強化にも努めています。

c. エネルギー

ガイアナは、2015年に沖合における大規模油田が発見されるまで十分なエネルギー生産は行われておらず、高価格の燃料を輸入してエネルギーを賄っていたことから、経済及び社会開発に大きな影響を与えていました。

中・長期的視野でエネルギー問題を解決する方策として、水力発電の開発も進められていましたが、大型プロジェクトとして発足したアメイラ滝における水力発電プロジェクト（総工費8億4千万米ドル、2011年完成予定で着工）は、2015年5月の新政権発足により中止が決定されました。

2015年、ガイアナ沖での大規模油田の発見を皮切りに、エクソン・モービル社は、2019年4月までにガイアナ沖で13の油層を発見しており、現在までの総原油埋蔵量は約55億バレルと概算され、2020年に生産開始予定の同鉱区 Liza 油田事業・第1フェーズにおける「Liza Destiny」FPSO（浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備）は、日量約12万バレルの生産能力を有する見込みです。これは隣国トリニダード・トバゴの日量約6万バレルを優に超える生産量です。更に、Liza 油田事業・第2フェーズ（第1フェーズの残資源の開発・生産を2023年から開始予定）において、日量22万バレルの生産能力を有する第2のFPSOを利用する見込みであり、今後の大規模な開発進捗に注視する必要があります。Liza 油田事業・第1フェーズにおいては、政府収入として総計70億ガイアナドル（約37億160万円）超のロイヤルティー及び石油利益が想定されており、エネルギー部門の活性化が国家財政に大きな影響をもたらします。

政府は、2020年の生産を見据え、探査作業と同時に石油・ガス収入の適切な運用を目的とした法整備や枠組構築にも取り組んでいます。

4. 金融・財政

ガイアナの通貨はガイアナ・ドル（GYD）で、2018年8月時点では1米ドル＝約208.50GYD（ガイアナ中央銀行）です。

IMF及び世銀は、貧困国の債務援助を目的として、1996年にHIPC（重債務貧困国）イニシアティブを開始し、ガイアナも同イニシアティブの対象国とされました。1999年5月、IMF及び世銀が、ガイアナにおけるHIPCイニシアティブの完了に基づく債務帳消（総額4億4千万米ドル）、同年6月にパリ・クラブが債務帳消に合意しています。また、HIPCイニシアティブの完了を受けて、2000年11月、拡大HIPCイニシアティブのガイアナへの導入が決定し、2003年12月にガイアナが拡大HIPCイニシアティブの完了時点に到達したことを受けて更なる債務帳消が決定されました（総額5億9千万米ドル）。2010年の公的債務対GDP比は67.9%でしたが、2015年は50.3%、2016年は50.7%、2017年は50.7%（推定値）と推移しており、将来的な石油収入と併せ、債務状況は比較的安定しています。

一方、短期的な借入には慎重な管理が必要であり、IMFは、開発銀行からの借入及び非譲許的借款の利用を推奨しています。

表4 公的債務対GDP比（単位：％）

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
債務割合	66.691	63.494	57.982	51.878	50.101	50.737	52.195	56.984*

(*推定値、出所:IMF World Economic Outlook Database、June 2019)

5. 貿易

2016年の主な輸出種目の割合は、農作物（31.6%）、製造業品（15.1%）、燃料及び鉱物製品（8.1%）、農作物の輸出は、主に米類、砂糖類、主な輸入種目の割合は、製造業品（57.1%）

3%)、燃料及び鉱物製品(23.9%)、農作物(18.7%)です^{xi}。2017年は、輸出成長が想定より落ち込んだことに加え、石油価格の上昇によって貿易収支はマイナスとなりました。

表5 主要貿易相手国(地域)別貿易実績(2017年)

	輸出		輸入	
	国名	構成比(%)	国名	構成比(%)
1	カナダ	22.9	トリニダード・トバゴ	27.5
2	EU	16.9	米国	26.5
3	米国	15.9	中国	8.9
4	トリニダード・トバゴ	11.4	EU	7.6
5	パナマ	8.8	スリナム	6.1

(出所:WTO Trade Profiles)

6. 経済統合

ガイアナは、カリブ共同体(CARICOM)に加盟している14か国1地域の1つの国です。カリコム事務局はガイアナのジョージタウンに設置されています。他のカリコム加盟国と共に、カリコム単一市場・経済(CSME)を推進しており、バハマ、ハイチ及び英領モンセラットを除くカリコム加盟国間(12か国)では単一市場(CSM)が2006年に開始されました。域内からの輸入は、原産地証明書が発行された場合はゼロ関税です。単一経済(CSE)については早期の実現を目指していますが、早期実現は難しいとされています。

カリコム及びカリブ諸国連合(ACS)を通じて、南米南部共同市場(MERCOSUR)、中米統合機構(SICA)等の中南米経済との幅広い連携も進めています。また、1951年に発足した米州機構(OAS)にも加盟していますが、2011年にラテンアメリカ・カリブ諸国共同体(CELAC)が発足し、OASからアメリカ及びカナダを除いた全ての中南米諸国(33か国)が加盟し、域内での政治・経済・社会・文化の側面の統合を長期目標に掲げています。

カリコムとして、対ベネズエラ貿易投資協定、対コロンビア貿易経済技術協力協定、対ドミニカ共和国自由貿易協定、対キューバ貿易経済協力協定、対コスタリカ自由貿易協定に署名しています。

IV. 日本との関係

1. 政治・外交

日本は、1966年5月26日のガイアナ独立と同時にこれを国家承認し、翌年6月6日に外交関係を開設しました。2006年1月から、それまでの駐ベネズエラ大使に代わり、駐トリニダード・トバゴ大使が兼轄しています。また、日本はジョージタウンに名誉総領事を任命しており、現在はカシール・アハマド・カーン氏が務めています。2017年9月、日・ガイアナ国交樹立50周年記念レセプションを開催しました。

^{xi} WTO Trade Profiles

2. 経済関係

2017年の対日貿易赤字は、約50億5,100万円でした。主な対日輸入品は輸送用機器、対日輸出製品は非鉄金属鉱石です。

<対日貿易> (単位：1,000円) (出所：財務省貿易統計、国別概況品別表(2018年))

輸入総額	5,596,838	輸出総額	545,575
主な輸入品	輸送用機器 4,164,543	主な輸出品	非鉄金属鉱石 507,847
	自動車 3,993,725		アルコール飲料 16,327
	鉄鋼 395,476		生きた動物 13,423
貿易収支			-5,051,263

3. 開発協力 (研修員及び専門家については、2016年度までの実績)

日本のガイアナに対する開発協力は、無償資金協力和技術協力が中心です。

無償資金協力では、1984年度以降、一般無償資金協力を11件(計69.67億円)、ノン・プロジェクト無償資金協力を6件(計31.00億円)、1974年度以降、水産無償資金協力6件(計25.54億円)を実施した他、1991年度からは草の根・人間の安全保障無償資金協力を32件実施しました。現在のカリコム事務局庁舎は2001年度ノン・プロジェクト無償資金協力の見返り資金をもとに建設されました。なお、その他の支援として、食糧増産援助(1980、1983年度)や2005年1月に首都ジョージタウン及び周辺地域で起きた洪水被害に対する緊急援助(約1,245万円)を実施しました。2018年6月送配電ロスを軽減するための送配電線の増強等を実施する「再生可能エネルギー・省エネルギーシステム導入計画」の交換公文(Exchange of Note: E/N)の署名が行われ、現在建設中です。

技術協力では、1976年度以降、我が国において227人の研修員を受け入れており、1989年度以降、地域開発等の専門家を27人(短期専門家を含む)派遣しました。また、ガイアナとは2005年2月に技術協力協定を締結し、ボランティアを延べ28人派遣しました。

(参考：一般無償資金協力)

1984年度	ベルサイユ発電所整備計画	(6.28億円)
1989年度	ガーデン・オブ・エデン発電所整備計画	(7.15億円)
1990年度	精米設備更新計画	(8.33億円)
1993年度	ベルサイユ発電所整備計画	(2.12億円)
1995年度	デメララ地区発電所整備計画	(10.17億円)
2002年度	ニュー・アムステルダム病院再建計画(1/2)	(7.03億円)
2003年度	ニュー・アムステルダム病院再建計画(2/2)	(7.50億円)
2006年度	コリバートン給水計画(1/2)	(6.51億円)

2008年度	コリバートン給水計画(2/2)	(8.67億円)
2010年度	東デメララ貯水池修復計画	(2.89億円)
2011年度	第二次東デメララ貯水池修復計画	(3.02億円)

(参考：ノン・プロジェクト無償資金協力)

1995年度	ノン・プロジェクト無償資金協力	(3.00億円)
1996年度	ノン・プロジェクト無償資金協力	(10.00億円)
2001年度	ノン・プロジェクト無償資金協力	(5.00億円)
2005年度	ノン・プロジェクト無償資金協力	(5.00億円)
2007年度	ノン・プロジェクト無償資金協力	(5.00億円)
2013年度	ノン・プロジェクト無償資金協力	(3.00億円)

(参考：水産無償資金協力)

1974年度	棧橋等の建設	(3.40億円)
1978年度	棧橋等の建設	(4.00億円)
1980年度	漁業開発計画	(6.00億円)
1984年度	漁業振興計画	(4.90億円)
1985年度	漁業振興計画	(4.61億円)
1987年度	漁業振興計画	(2.63億円)

(参考：その他)

1980年度	食糧増産援助	(2.50億円)
1983年度	食糧増産援助	(3.00億円)
2004年度	緊急援助	(1,245万円)

4. 要人往来

a. 来訪

年	要人
1972年	キング経済開発大臣
1975年	バーナム外務大臣
1979年	ジャクソン外務大臣 グリーン労働大臣
1988年	ジャクソン外務大臣 グリーニッジ財務大臣 マッケンジー農業大臣
1989年	グリーン首相(大喪の礼)
1990年	ホイト大統領(即位の礼)
1991年	グリーニッジ財務大臣

1993年	ジャグデオ財務次官
2000年	ハインズ首相 ローヒー外務大臣（日カリコム閣僚レベル会合）
2007年	ジャグデオ大統領
2008年	バクシュ教育大臣
2010年	ロドリゲス＝バーケット外務大臣 （第2回日・カリコム外相会合）
2012年	シン財務大臣
2013年	パサード天然資源環境大臣
2014年	ロドリゲス＝バーケット外務大臣（第4回日・カリコム外相会合）

b. 往訪

年	要人
1973年	カリブ・アンデス北部経済視察団
1976年	カリブ経済調査団
1989年	山下徳夫衆議院議員
2005年	有馬龍夫政府代表
2015年	宇都隆史外務大臣政務官
2018年	平木大作経済産業大臣政務官

5. 文化・人的交流

人的交流としては、平成4年度及び同30年度の外交官日本語研修に計3人、カリコム若手外交官招へい（Juntos）で計6人、2009年度、2017年度及び2018年度文部科学省国費外国人留学生（研究留学生）として3人が、ガイアナから来日しています。また、2016年にジョージタウンで開催した天皇誕生日祝賀レセプションに併せて日本のカレンダー展を開催し、2017年には、日・ガイアナ外交関係樹立50周年記念イベントとして日本映画祭を開催しました。

6. 在留邦人

2019年5月現在の在留邦人は6人です。

V. 旅行者のために

1. 通貨・両替

通貨はガイアナ・ドル（G\$）です。変動相場制で、2019年6月現在、US\$1=G\$208.94となっています。外貨からG\$への両替は、銀行、両替所、ホテルのフロント等で行うことができます。

主要なクレジットカード（VISA、MASTER CARD、AMERICAN EXPRESS）及び米ドル現金は、

ホテル、レストラン、レンタカー会社、ツアー会社などで使用することができます。

2. 電話

国際電話は、最初に00、次に国番号、相手先の電話番号の順でダイヤルします（日本にかける場合、市外局番の先頭の0を取ります）。

（例1） ガイアナから日本にかける場合
00-81-0を除く相手先電話番号

（例2） ガイアナからトリニダード・トバゴにかける場合
00-1-868-相手先電話番号

日本からガイアナにかける際のガイアナの国番号は592です。

例) 592-相手先電話番号

3. 電圧

電圧は一般的には240Vで、ジョージタウン内では110Vで使用できる施設もあります。プラグの形状はAタイプ、Bタイプ、Dタイプ、Gタイプがあります。

4. 2019年の祝祭日

1月 1日	NEW YEAR' S DAY	元旦
2月 23日	REPUBLIC DAY/MASHRAMANI	共和国記念日
3月 21日	PHAGWAH (HOLI)	ホーリー祭
4月 19日	GOOD FRIDAY	キリスト受難の日
4月 22日	EASTER MONDAY	イースター
5月 1日	LABOUR DAY	労働者の日
5月 5日	ARRIVAL DAY	インド人到来記念日
5月 26日	INDEPENDENCE DAY	独立記念日
7月 1日	CARICOM DAY	カリコムデー
未定	EID-UL-FITR	イード・アル・ファトゥール
8月 6日	KETI-KOTI/EMANCIPATION DAY	奴隷解放記念日
8月 12日	EID-UL-AZAH/AID-AL-ADHA	イード・アル・アドハー
10月 27日	DIVALI	ディバリ
11月 10日	YUMAN NABI (MILAD UN NABI)	ユーマン・ナビ (Prophet Muhammad 誕生日)
12月 25日	CHRISTMAS DAY	クリスマス
12月 26日	BOXING DAY	ボクシングデー

5. 交通事情

● タクシー

ジョージタウン市内ではタクシーでの移動が便利です。乗り合いタクシーはホテルや観光地周辺で

容易につかまえることが可能ですが、貸切タクシーをホテルやタクシー会社を通して手配したほうがより安全だといえます。走行距離に応じて決まった料金体系があるので、乗る前におおよその料金を確認することが重要です。

6. 治安

ガイアナでは殺人や強盗等の凶悪犯罪が頻発しており、日本人を含む外国人が狙われる事件も多発傾向にあります。

過去には武装ギャング集団が警察署を襲撃し、住民を十数人虐殺するという事件が発生しています。事件の背景や動機も未だ不明な部分があり、事件は解決していません。また、2016年に首都ジョージタウン刑務所で暴動が発生して多数の死傷者を出し、2017年7月には大量脱獄事件が発生しており、治安上の不安要素が多く見られます。

首都ジョージタウンでは、外国人をターゲットとした強盗犯罪等が多発しており、渡航者や在留邦人が少ないにもかかわらず、2016年と2017年の間に日本人が強盗被害に遭う事件が7件発生しています。強盗犯人は違法銃器を使用し、昼夜を問わず複数で犯行に及ぶ事が多く、複数で行動していても被害に遭うことがあります。時間、場所及び周囲の状況に係わらず、常に十分注意した行動が必要なことはもちろんですが、車で移動する場合も、後を付けられるなどして車から出たところで強盗に遭うことも考えられるため、注意が必要です。

また、邦人旅行者がホテル内で盗難に遭う事件やホテルを出たところで強盗被害に遭うなどの事件も発生していることから、宿泊にはセキュリティーのしっかりしたホテルを選ぶようにし、日中であっても不用意に街中を出歩かない等の自己防衛を考えた行動を取って下さい。（現在、渡航情報「十分注意」が発出されています。）

VI. ジョージタウンの見所

a. ウマナ・ヤナ

ワイワイ・インディアンが1972年に建てたわらぶき屋根の建造物で、高さは約17メートルあります。

b. THE RED HOUSE

真っ赤な外壁が目目をひくコロニアル調の建物です。現在はチェディ・ジェイガン研究所となっています。

c. STATE HOUSE

ガイアナ大統領公邸。1845年に建築されました。

d. プロムナード庭園

庭園の美しさからは想像できませんが、1823年に起きた反乱に関わった奴隷が絞首刑にされた場所でもあります。

e. ウォルター・ロス美術館

アメリインディアンの工芸品を見ることができます。

f. CHURCH OF THE SACRED HEART

ポルトガル人コミュニティのために、1862年に建てられた木造教会。

- g. 国立博物館
- h. セント・ジョージ大聖堂
約44メートルを誇る、世界で最も高い木造建築物です。
- i. 市庁舎
1889年に建てられた美しい木造建築。
- j. 高等裁判所
1887年以来裁判所としての機能を果たしてきました。
- k. セント・アンドリュース教会
ジョージタウン最古の教会で、1818年に完成しました。
- l. STABROEK MARKET
野菜から金まで様々なものが売られているマーケットです。
- m. 国会議事堂
1834年に完成された国会議事堂で、ジョージタウンのランドマークとしても有名。
- n. 動植物園
ガイアナに住み着いている世界一大きな淡水魚や、マナティ、様々な種類の猿や鳥など珍しい動植物が観られます。

VII. 宿泊

1. ホテルリスト

ホテル名	電話番号	住所	ウェブサイト
Pegasus Hotel Guyana	(592) 225-2856	Seawall Rd., Kingston Georgetown	http://www.pegasushotelguyana.com/
Halito Hotel & Residence	(592) 226-1612	176 Middle & Waterloo St., Georgetown	
Cara Lodge	(592) 225-5301	294 Quamina St., Georgetown	http://caralodge.com/

VIII. 主要電話番号

警察	911
消防	912
救急	913
Cheddi Jagan 国際空港	(592) 261-2281
日本国大使館 (トリニダード)	(1-868) 628-5991~3

付録

ガイアナ閣僚名簿

(2015年5月組閣)

2019年6月現在

(APNU：国民統一のためのパートナーシップ)

1 閣僚

(AFC：変化のための同盟)

(1)	大統領 President	デービッド・A・ <u>グレンジャ</u> ＝ His Excellency Brigadier David A. GRANGER	APNU
(2)	首相兼第一副大統領 Prime Minister and First Vice President	モーゼス・V・ <u>ナガモート</u> The Honourable Moses V. NAGAMOOTOO	AFC
(4)	外務大臣 Minister of Foreign Affairs	<u>カレン・カミングス</u> Dr. The Honourable Karen CUMMINGS	APNU
(3)	第二副大統領兼国家安全保障大臣 Third Vice President and Minister of Public Security	ケムラジ・ <u>ラムジャタン</u> The Honourable Khemraj RAMJATTAN	AFC
(5)	第三副大統領兼先住民問題大臣 Fourth Vice President and Minister of Indigenous Peoples' Affairs	シドニー・C・ <u>アリコック</u> The Honourable Sydney C. ALLICOCK	APNU
(7)	内閣官房長官（大統領府國務長官） Minister of State in the Ministry of the Presidency	ドーン・ヘイスティングス＝ ウィリアムズ The Honourable Lieutenant Colonel (Retired) Dawn HASTINGS-WILLIAMS	APNU
	司法長官兼法務大臣 Attorney General and Minister of Legal Affairs	<u>バジル・ウィリアムス</u> The Honourable Basil WILLIAMS	
(6)	財務大臣 Minister of Finance	<u>ウィンストン・ジョーダン</u> The Honourable Winston JORDAN	APNU
(8)	教育大臣 Minister of Education	<u>ニコレット・ヘンリー</u> The Honourable Nicolette	APNU/ 女性

		HENRY	
(9)	農業大臣 Minister of Agriculture	ノエル・ホルダー The Honourable Noel HOLDER	AFC
(10)	公共インフラストラクチャー大臣 Minister of Public Infrastructure	デービッド・パターソン The Honourable David PATTERSON	AFC
(11)	公衆衛生大臣 Minister of Public Health	ヴォルダ・ローレンス The Honourable Volda LAWRENCE	APNU/ 女性
(12)	社会的保護大臣 Minister of Social Protection	アムナ・アリー The Honourable Amna ALLY	APNU/ 女性
(13)	コミュニティ大臣 Minister of Communities	ロナルド・バルカン The Honourable Ronald BULKAN	APNU
(14)	公共通信・観光大臣 Minister of Public Telecommunications and Tourism	キャサリン・ヒューズ The Honourable Catherine HUGHES	AFC/ 女性
(15)	ビジネス大臣 Minister of Business	ヘムラージ・ラムクマー The Honourable Hemraj RAMKUMAR	AFC
(16)	司法長官兼法務大臣 Attorney General and Minister of Legal Affairs	バジル・ウィリアムス The Honourable Basil WILLIAMS	APNU
(17)	天然資源大臣 Minister of Natural Resources	ラファエル・トロットマン The Honourable Raphael TROTMAN	AFC
(18)	大統領府付市民権大臣 Minister of Citizenship in the Ministry of the Presidency	ウィンストン・フェリックス The Honourable Winston FELIX	APNU
(19)	大統領府付社会的結束大臣兼文化・青少年・スポーツ担当大臣 Minister of Social Cohesion within the Ministry of the Presidency with responsibility for Culture、 Youth and Sport	ジョージ・ノートン The Honourable Dr. George NORTON	APNU

(20)	大統領府付公共事業担当大臣 ^{xii} A member of Cabinet and the National Assembly with responsibility for Public Service in the Ministry of the Presidency	タビサ・サラボ＝ハレー The Honourable Tabitha SARABO-HALLEY	APNU
------	--	---	------

2 閣外大臣

(1)	財務省付大臣 Minister within the Ministry of Finance	ジャイポール・シャーマ The Honourable Jaipaul SHARMA	APNU
(2)	天然資源省付大臣 Minister within the Ministry of National Resources	シモナ・ブルームス The Honourable Simona BROOMES	APNU/ 女性
(3)	公衆衛生省付大臣 Minister within the Ministry of Public Health	カレン・カミングス Dr. The Honourable Karen CUMMINGS	APNU/ 女性
(4)	公共インフラストラクチャー省付大臣 Minister within the Ministry of Public Infrastructure	アネット・ファーガソン The Honourable Annette FERGUSON	APNU/ 女性
(5)	コミュニティ省付大臣（住宅担当） Minister within the Ministry of Communities with responsibility for Housing	ヴァレリー・パターソン＝アダムス The Honourable Valerie PATTERSON ADAMS	APNU/ 女性
(6)	社会的保護省付大臣 Minister within the Ministry of Social Protection	キース・スコット The Honourable Keith SCOTT	APNU
(7)	大統領府付公務大臣 Minister of Public Affairs in the Ministry of the Presidency	ドーン・ヘイスティングス＝ウィリアムス The Honourable Dawn HASTINGS-WILLIAMS	APNU/ 女性
(8)	先住民問題省付大臣 Minister within the Ministry of Indigenous People's Affairs	ヴァラリー・ガリード＝ロウ The Honourable Valarie GARRIDO-LOWE	AFC/ 女性

^{xii} ループナライン大統領府付公共事業担当は、2017年6月現在、特定省庁の大臣職につかない無任所大臣である。

ガイアナ地図



※出典：Worldatlas.com

当館管轄国と日本の貿易関係（2018年全期）

	アンティグア・バーブーダ	ドミニカ国	グレナダ	セントクリストファー・ネービス	セントルシア	セントビンセント	トリニダード・トバゴ	ガイアナ	スリナム
対日輸入総額	1,952,872 (1,643,207)	823,199 (614,054)	1,011,447 (959,133)	709,223 (868,431)	1,404,382 (1,458,200)	859,042 (529,481)	16,398,551 (22,746,030)	5,596,838 (4,750,845)	7,456,479 (4,722,997)
主要輸入品目	自動車 1,858,627 ゴム加工材料 911 光学機器 234	自動車 619,655 事務用品 1,571 非金属鉱物製品 1,389	自動車 926,982 非鉄金属 4,964 事務用品 618	自動車 631,505 ゴム製品 692	自動車 1,278,741 ゴム製品 885 光学機器 800	自動車 499,126 織物用糸及び繊維製品 61,564 家具 31,920	自動車 10,675,781 ゴム製品(タイヤ・チューブ) 194,934 光学機器 165,796	自動車 3,993,725 鉄鋼 395,476 医薬品 25,859	自動車 6,153,725 ゴム製品(タイヤ・チューブ) 154,031 その他の動植物性原材料 6,474
対日輸出総額	683 (0)	39,104 (84,170)	1,181 (715)	3,266 (610)	2,784 (7,480)	311,510 (346,589)	14,429,794 (13,468,481)	545,575 (675,370)	738,893 (653,584)
主要輸出品目	電気計測機器 448 アルコール飲料 235	衣類及び同付属品 16,844 カカオ豆 6,592 たばこ 3,644	原動機 619 カカオ豆 562	光学機器 2,864 一般機械 402	アルコール飲料 1,038 美術品・収集品及びこつとう 916	魚介類 305,432 電気機器 1,907	有機化合物 7,525,316 石油ガス 6,800,513 非鉄単金属くず 24,871	非鉄金属鉱 507,847 アルコール飲料 16,327 生きた動物 13,423	魚介類 718,579 木材 6,791 印刷機械及び製本機械 4,447
対日貿易収支	-1,952,189	-784,095	-1,010,266	-705,967	-1,401,598	-547,532	-1,968,757	-5,051,263	-6,717,586

<単位>1,000円 / <出典>財務省貿易統計:国別総額表, 国別概況品別表()内年総額